

令和4年度第1回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	令和4年5月21日（土） 午後1時30分 ～ 3時33分	
開催場所	アスパアやましろ	
担当議員	班代表者	河口 靖子
	司会者	宮嶋 良造
	報告者	森本 茂
	記録者	兎本 尚之
	班員 (上記以外)	伊藤 紀味枝、長岡 一夫、高岡 伸行
参加人数	20人	
主な質疑・意見等	Q：消防団員報酬をどういう経緯で上げたのか。 A：国の施策での処遇改善を受けて報酬を上げた。消防団員の増員に向け応援していきたい。 Q：議員報酬は近隣と比べてかなり低いように思うが、議員数を減らしたうえで議員報酬を上げたかどうか。議員の報酬も考えて提案されないのか。 A：コロナ禍で市民生活が苦しい中、自分たちの報酬の話は控えているが、今後、検討していきたいと思う。 （意見） やり方は色々あると思うが、議員の報酬と人数について考える委員会を持って頂く努力を。 Q：「介護施設の人員配置基準の引き上げを求める意見書」、「保育所等の最低基準と保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書」について、否決された意見書の中身は当然国に求めるべきだと思っているが、なぜ否決されたのか。 A：こども家庭庁が創設され、検討していくとなっている内容であり、あえて出す必要は無いと判断。 A：意見書の内容では、新たな介護事業参入の運営が厳しいということで控えられたり、事業者が厳しい運営状況になる。定員を減らさないといけない状況も生まれてくる可能性を危惧した。 （意見） ・国に対して、議会として正しいという提案（意見書）があれば、国に進めさせていくということ、今後に活かされたい。 ・請願は市長に対して、議会に対して、何千人かが署名しているので、真剣に議論されていると理解するが、住民の声を否決されないようお願いしたい。	

主 な 質 疑 ・ 意 見 等	Q：消防署の統廃合について、山城出張所が廃止された場合、救急救命曲線では、心肺蘇生措置が間に合わない、人を救えないような状態がでてくる。市民が納得のいく考え方を聞かされていない。議員はどういう考えか聞かせてほしい。 A：山城出張所が廃止の意向というような言葉がでたが、城陽井手木津川バイパス及び周辺道路の整備が行われて、道路ネットワークが強化された後、山城地域の到着時間等の調査を行い、検証の後、廃止するかしないかを考えていくという認識であり、道路の完成が早くても10年以上先。消防の広域化を進めていくことも必要。 救急救命曲線については、心肺蘇生は救急車だけでなく、AED も活用する必要があるのではと考える。 民間の救急車も生まれている。行政と民間とで市民の安心安全を考えていかなければならないと思っている。 消防署のビジョンが希薄、人を増員しもっと補強する必要があったのではとも考える。 老朽化したり、大規模改修が必要な公共施設をなくしていこうという市の方針は間違っていると考えます。受け入れてもらえる病院がすぐに見つかるということが大事と実体験から感じており、医師や看護師など医療体制の整備が必要。 (意見) 全員協議会で、山城出張所は廃止するとの発言は撤回の申し入れを。道路のことを言われるが、どうなるかは距離・時間は想定できる、今の時点で認識をしてもらわないと駄目。 人口が増えたり高齢化しているにもかかわらず、消防署員の数が増えていない、その結果、火事が広がる、助かる命が助からないといったことが起こってくる。危機管理課をつくりながらも、市は安心安全に力をいれていないという結果では。 (意見) 10年後どうなるかわからないが、子や孫のために、安心安全のまちづくりのため、山城出張所の必要性を理解いただき、推し進めてほしい。 Q：消防署問題について、議会はなぜ特別委員会や、公聴会等設置しないのか。議論されたのか、非常に不思議。 A：消防組合議会で新しい庁舎の件は、議論が進みつつある。しかし、出張所廃止の件はまだ議論にまで至っていない。住民の方が意見を言われることは非常に大切で、組合議会で議論していきたい。 木津川市の議会ではなく、消防の組合議会での議論となる。 (意見) 山城出張所の是非は先だというが、行政の方が10年、15年前に決まってきましたよと言われたらたまったものじゃないと危惧している。消防のビジョンをきちんと示して欲しい。
----------------------------	--

質問・要望等で行政側へ報告すべき内容	(意見) 消防組合は、予算的にも議員の数も、圧倒的に木津川市が占めているから木津川市議会の意向がそのままとおるはず。議論の場が組合議会というのは形式論であって、全体を特に木津川市民の意見を聞いていただかないと認められない。そんな組合は辞めて、木津川市は脱退してもらわないといけない。 Q：消防署の件で、山城町では説明会が開かれていない。消防議会並びに消防署に木津川市議会として強く要望をしていただきたい。リーダーシップをとって山城町で先ず説明会を開いていただきたい。 A：消防本部に提言していきたい。 (意見) 城陽井手木津川バイパスができれば、山城出張所は無くなると解釈している。疑念を打ち消す意味でも説明会を開き、誤解を払拭していただきたい。 Q：山城町の地域公共交通について、請願で山城町のコミュニティバスを精華町へ伸ばすことが採択されたが、地域公共交通総合連携協議会で議論がストップしていると聞くが、議会で採択した結果をどのようにしていこうとされているのか。 A：協議会の結果を受けて市から精華町へ、乗り入れについて協議がされるという認識だが、協議会でそのことが進展していない。J R奈良線的全線複線化に向けて乗降客数を増やしていきたい。 (意見) 協議会も大変だと思うが、祝園へのコミュニティバス運行の現実化に向け議会も動いて頂きたい。ルートや時間・便数など住民のためのバスとしてどうあるべきかを検討していただきたい。 Q：令和4年度予算で、敬老会が廃止ということになっている。議員は廃止で良いと思ったのか、少しでも異議を唱えた方がいるのか。中止ではなく、廃止ということでのどのような解釈をされたのか。 A：敬老会について、質問をした議員はいる。敬老会の参加率が低くなってきていることや、小規模な開催を希望されるなど、現場の声を聞いて決めたと思っている。出席率が低い、心苦しいが断念した。祝品などは、継続して考えている認識。敬老会の件は今後また色々ところで議論を進めていきたいと思っている。 (意見) 敬老会が当面中止とかではなく、廃止という言葉が出てきたことは納得しかねる。再度、敬老会を立ち上げるとなると労力がかかる。
---------------------------	--

そ の 他 特 記 事 項	Q：新風コスモスの会の会報について、事実でない内容ではないかと思 い 3 点伺う。①広さの比較の数字の根拠は。②用地買収金額の計算式は本 当に正しいのか③事実と異なると思う。チラシを出す責任をどう考える のか。 A：出席議員の共通認識になっていないので、この場の議論ではないこと を承知いただきたい。 A：会報の件については、他にもご意見をいただいているので、一度、持 ち帰って正確に回答できるような状況となれば、会派として対応させて いただきたい。
--------------------------	--

上記のとおり、報告します。

令和 4 年 6 月 3 日

木津川市議会議長 森本 隆 様

令和 4 年度第 1 回議会報告会

第 3 班 代表者 河口 靖子